

五月晴れのもと、労働者の祭典メーデーに集う



第84回山口県メーデーが5月1日(水)午後には山口市の維新百年記念公園野外音楽堂で開催され、約350名の労働者・市民が集い、農協労働者からは7名が参加しました。

開会前のアトラクションでは、劇団「イワクニ9」による寸劇『オスプレイ君』が上演され、オスプレイの危険性と配備への怒りをユーモラスに表現した劇に、会場からは共感の笑いが起きていました。

続いて行われた

式典では、消費税増税反対・上関原発建設反対・マツダ派遣切り裁判の三つから参加者アピールがありました。

マツダ原告団の佐藤事務局長からは、4年前のメーデー前日に提訴してから山口地裁勝利に至るまでの支援に感謝の思いが述べられると共に、今後の広島高裁での闘いに引き続き力をかしてほしいと訴えがあり、参加者は大きな拍手で応えていました。

式典の最後には、「くらしと経済を直撃するアベノミクスの危険な暴走を許さず、賃上げと安定的な雇用の拡大をめざそう」などとするメーデー宣言が採択されました。

会場の一角にある販売コーナーでは、山口中央支部と防府とくぢ支部がイチゴ・タマネギ・ホウレンソウ・キュウリを販売。最初は売れるのか心配でしたが、安くて新鮮な野菜を参加者は嬉しそうに買い求めていき、無事完売できました。

また、ステージには、労働時間短縮や原発・TPP反対など、各組

毎年楽しみにされている販売コーナー、他の団体も色々売ってます

織からの要求を様々なたちで表現したデコレーション・プラカードが並べられ、会場を彩っていました。

式典後には、維新公園周辺を30分ほどかけてパレード。参加者のお供でやってきた犬が、「TPP参加反対」と書かれた小さなプラカードを一生懸命口にくわえて歩く姿も。また、近くの中学校は、外で部活中だった沢山の生徒達が、パレード一行を不思議そうに眺めながら声援を送ってくれました。



様々な工夫を凝らし新人歓迎会～山口中央支部～

山口中央支部は、5月11日(土)に青年部主催による新人歓迎会を行いました。

今年の新入職員は19名と昨年に続き多く、オリエンテーション、ボーリング、懇親会の内容で行いました。

オリエンテーションについては、労働組合の基礎的な部分をテーマとして行いました。これまでは「学習会」としていましたが、堅いイメージではなくとっつきやすいものにしようということ、

「オリエンテーション」と名を改めまして、

講師についても、執行部の女性が2名で説明をしたり、資料を見やすくするなど、新入職員に受け入れてもらえるよう様々な工夫をしました。

ボーリングについては、新人以外のなかまも加わって42名の参加となり、土

曜日ということもあってレインの確保に大変苦労しました。班分けについては十分吟味を行い、景品も用意するなど、新入職員含め参加者が全力で楽しめるよう企画しました。

懇親会については、山口市小鯖にある「山口地ビール」で行いました。女性の参加者も満足できるようにケーキバイキングを取り入れられたり、お互いの名前が分かるよう名札を配布した結果、和気あいあいとした大変楽しい懇親会にすることができました。

山口中央支部では、しばらくヤングマン(支部青年部)の活動が停滞しており、これまでは執行部が中心となつて準備していましたが、今回は若い世代がそれを担い、執行部とも意見を交わしながら準備・企画を行いました。今後についても、若い世代の意見を積極的に取り入れながら、支部として力強い活動を行っていければと思います。

(山口中央支部)

山口中央支部では、しばらくヤングマン(支部青年部)の活動が停滞しており、これまでは執行部が中心となつて準備していましたが、今回は若い世代がそれを担い、執行部とも意見を交わしながら準備・企画を行いました。今後についても、若い世代の意見を積極的に取り入れながら、支部として力強い活動を行っていければと思います。

全農協労連2013ヤングセミナー・青年部第5回総会のご案内

◇日時：6月22日(土)14時～23日(日)12時 ◇場所：宮城県仙台市「ハーネル仙台」

◇内容：東日本大震災発生から2年以上が経過しましたが、未だに再生が進まない被災地のくらしと生業、収束とは程遠い原発事故など、様々な問題があります。セミナーでは、宮城県南部沿岸をバスで周るフィールドワークなどを通して被災地の現状を学び、今・そしてこれから必要な活動を全国の青年のなかまと共に考えていきます。 ※参加締切：6月5日(水)